

一般質問に 6人が登壇

6月定例議会では、6人の議員が一般質問を行いました。その中から主な質疑応答の要旨を、質問した議員の要約により掲載します。

なお、会議中の発言および答弁の詳細は、伊奈町議会ホームページおよび図書館に備えてある会議録でご覧になれます。（9月初旬掲載）

伊奈町議会ホームページ
<http://gikai02.kaigiroku.jp/ina/>

議員氏名	質問事項
鳥井文典（P8）	1、町内商工業の活性化について 2、栄地区における水害対策について
村山正弘（P9）	1、国の21年度一般会計補正予算による町一般会計予算補正と・事業の影響
水上邦雄（P9）	1、全国一斉学力テストについて 2、教育環境の充実を 3、就学援助金について 4、道路問題について 5、介護保険4月実施新認定制度見直しについて
大沢 淳（P10）	1、住民との双方向循環型の町政を目指して 2、不況下での雇用、地域経済対策の強化 3、次世代育成支援行動計画の策定と当面の子育て支援策の充実に向けて
大谷保雄（P10）	1、子育て支援策について 2、緑いっぱいの町づくりの為に
永末厚二（P11）	1、私営保育所の誘致と家庭保育室運営要綱の改定について 2、健康維持施設とふれあい居場所の確保について 3、公共施設の地上デジタル放送、受信設備への転換の進捗状況について

町商工業活性化の 本格的取組みを

商工会と連携を図り

支援したい



とりいぶんてん
鳥井文典 議員

問 商工業活性化のため
町内業者への発注や購買

答 商工会で今年度「B」を促す運動を展開しては

UY伊奈」をスローガンに掲げ運動を展開すると聞く。町も連携を図り支援していきたい。

問 町の特産品開発は、

答 新たな展開を支援する。庶民の味「B級グルメ」は研究課題としたい。

問 プレミアム付商品券を来年度も発行しては、

答 商工会とよく相談して検討したい。

問 町長は町のトップセールスマンとして町内外へ町特産品のPRを。

答 最も効果的な方法で

PRを図ってきたい。

栄地区の水害対策は

問 南小グラウンドや南部大公園に貯水機能をもち流域貯留浸透施設を早期に設置するべきだ。

答 今年度整備調査を実施し早期整備に努力する。

問 綾瀬川の本格的な浚渫を行う事で保水力が高まる。県に強く要望を。

答 水害の防止を図る総合治水に向け活動したい。

問 栄6丁目北側の水田や畑地の保水力を高める

施策を検討すべきだ。
答 どんな取組みができ

るか整理し取組みたい。



豪雨により冠水した道路

国の補正予算成立による交付金を町の事業展開に活用すべきだ

交付金を活用できる事業について精査を行い該当事業は臨時議会又は9月議会に補正予算を提出する



村山正弘 議員

国の補正 低炭素革命

問 公立小中学校の耐震工コ改修に、公立文教設備整備費として2千700億



伊奈中学校

円、また学校への情報技術を活用した教育・学習の振興として地デジ・パソコン配備に2千98億円が補正されたが対応はどうか。

うか。

答 今年度に南小・伊奈中学校の耐震補強設計をし、22年度以降に工事を予定しているので該当外である。

又、学校施設への太陽光発電設備の設置は問題もあるが可能性を含めて検討する。

小・中学校の地デジ受信設備、パソコン、電子黒板の配備実施に向けて県及び関係各課と協議を進めている。

問 既存住宅の太陽光発電設備設置補助金上限が県21万、国7万/kw(24万)、町が7万円である。町の補助が国・県並にどうか。

答 4月に計画立案事業なので増額は出来ない。

他の質問

健康長寿・子育て
安心子供基金の拡充
地方公共団体への配慮
基金について質問した
答弁として今は詳細不明
の為今後の課題とした。

他者に思いやりの持てる
教育の充実を

その思い共感できる



水上新邦雄 議員

全国学力テスト

問 正解率での児童・生徒・学校評価は、教育現場を混乱させる。

答 数値結果だけでなく児童・生徒の学習意欲な

ど学力向上に向けた地道な取り組みを継続的に行うよう、指導している。

結果開示、議論を深め、判断していく。

問 30人学級実現を。施設設備の課題もあ



歩道の整備が望まれる(伊奈中央線)

る。現行で対応していく。歩行者と自転車にやさしい道路整備を

問 歩道と自転車専用レーン。

答 「いなほ街道」検討していく。「伊奈中央線」県に検討を要望していく。丸山駅北側歩道の開通を。

答 県に働きかけていく。上尾環状線東北新幹線下道路の拡幅を。

答 地元の要望、県に伝え、検討していただく。別所交差点と南中南側交差点渋滞解消を。

答 時差式信号機、上尾警察署と協議していく。

介護「厚労省内部文書」利用者負担2割など大幅改悪を検討

問 保険制度の根幹を壊すもの、町長の見解は。

答 給付制限は問題があると認識している。

必要な介護サービスが受けられるよう国で議論していただく。

保育所待機児童の解消を

3事業者から平成22年度中の
保育所設置について前向きな
話がある



おおさわ じゅん
大沢 淳 議員

住民との双方向循環
型の町政を目指して

問 広報誌とホームページの充実を。

問 議会の動画配信システム導入を。

答 町民のご意見をいただきより良い広報を目指したい。



伊奈町のホームページ

答 議会とも十分協議し対応したい。

不況下での雇用、地域経済対策

問 地元への発注を意識的に増やす。

答 地元業者育成、地元経済の活性化を考慮した発注に努めたい。

次世代育成支援行動計画と子育て支援

問 第3子以降の保育料の無料化を。

答 4月より無料にした。老朽化している中央

・南保育所の今後は、答 耐震化問題なども含め検討する。

問 上尾、桶川で実施されている朝7時から夜7時までの延長保育、土曜日の終日保育を。

答 民間事業者による保育所設置の中で取り組んでいきたい。

問 3歳以上児への主食提供を。

答 どのような問題があるか点検したい。

子育て支援対策

臨時特例交付金の活用は

「安心こども基金」を

設置し運用する



おおたにやすお
大谷保雄 議員

問 待機児童解消策、民間保育所に町の助成を。

答 子育て支援対策臨時特例交付金を計上し、「安

心こども基金」を設置し民間事業者がH22年末まで、保育所を設置する場
合有利な補助で助成する



民間保育所

制度を設けた。町単独補助3000万を上限に助成する。業者負担は軽くなり、民間事業者の参入で待機児童の解消が図れる。現在3事業者がH22年度中に、定員60名以上の保育所を設置したいと申し出た。用地の確保・関係法令等調整を進めている。

公園や校庭に芝生化を

答 美観の向上、砂ぼこりの飛散防止など有効と認識している。鳥取方式は初期の投資も、管理コストを低く抑え管理も簡単なとの事だが他の市町村の状態を踏まえ引き続き調査研究していく。

学校に緑のカーテンを

答 太陽光を遮断し、葉が水分を蒸発し涼しくなる効果がある。児童、生徒の体験学習の一環として、保護者、地域一緒に実施することには、教育委員会として側面から支援する。

私立保育所の誘致に込める事業者はどのくらいあるか

社会福祉法人の3事業者と
NPO法人1事業者から問
い合わせがあった



ながすえ こういち
永末厚二 議員

問 私立の保育所を誘致するに至った経過と決断は。公立、私立の選択の自由は。家庭保育室の要綱も変更したが。

答 町の就学児童数は、平成21年度3千666名、待機児童数は50名を越えた。国の今年度補正予算で緊急に保育所の整備を促進



グラウンドゴルフを楽しむ伊奈町の人々

する「安心こども基金」を計上、町は、この機を逃しては他にないと考え、社会福祉法人に優良で質の高い保育を提供して頂きたいと考えた。現在、それぞれの事業者は平成22年度中の保育所設置、平成23年度の開所に向け、用地確保や関係法令に基づく調整等を進めている。

公私選択は保護者の自由で、延長保育や病児・病後児保育など選択肢が増えると考えている。

家庭保育室の要綱変更は定員枠の拡大等である。

グラウンドゴルフ場常設の展望は

問 健康維持やコミュニティの形成に大きな役割を果たしているグラウンドゴルフへの参加人口は増加している、常備施設の要望が強いが。

答 丸山スポーツグラウンドの隣接地を県立がんセンター改築の資材置き場に貸し出した。この場所も返還後には、候補地として考えられる。

各党派による政務調査報告

子育て支援と「街おこし」

視察地 長野県佐久市岩村田商店街
視察日 平成21年5月18・19日
党派 公明党・民主党・伊新の会
3党派合同

町議会では、議員活動の資質向上をねらいとし、各党派で、他の自治体の取り組みを視察調査したり、また、様々な研修を行うなど研鑽に努めています。

公明党・民主党・伊新の会は、5月18日、19日、長野県佐久市を視察。

本年1月に始まった岩村田商店街と学習塾の連携（寺子屋塾）は、街の

空き店舗対策を進める商店街の活性化に一役かっている。

長野新幹線の開通で新設された佐久平駅周辺の大型店に客足が流れたた



岩村田寺子屋塾

め、空き店舗が多くなつた。そこで、商店街は客を呼び戻し、空き店舗を解消するため、「子育て村」と名づけた事業を展開した。

会費は無料で会員は商店街で買い物をする一品おまけがついたり、代金を割引してもらえ。現在、空き店舗は2店舗だけになったとのことである。

平成16年に商店街の若手後継者が組合員となり、選ばれた役員がリーダーシップを発揮し活動している。商店街も寺子屋塾を支援し、商店街に活性化が戻ってきている。

寺子屋塾の月謝は低く抑えられ、塾生に喜ばれている。

「岩村田商店街の子育て支援と街おこし」は極めて有意義なもので、今後の参考としたい。